

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 令和6年 1月22日

事業所名: ゆらんこ

サービス種類: (児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	少しでもスペースを確保する為に、常設や常備されてある物品を最低限にしている。また、活動中に使用しなくなった机やイスを随時、片付けている。また、人数の多さや密になりそうな時には、もう一つ部屋を使用している。サービス提供時間を工夫するなどして、少しでもスペースの確保がしやすいようにもしている	はい35 どちらとも5 ・人数によっては、少し狭く感じたりもします。大人がたくさんいると狭く感じたりしますが、子どもだけならそんなに冬は少し寒いです。手洗いの洗面台がお湯が出てくれたらと思います	・現状の取り組みを維持する
	2 職員の適切な配置	配置基準のみでなく、利用される児童に合わせて、職員を配置。	はい37 わからない3 ・いつも対応策等、本当に助かっております	・制度上の適切な職員配置はしているが、利用児にあわせての配置をするとなると人員不足を感じることもあり、人材確保をしていく必要がある
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	現状は、段差にステップ台などを置いたりなど物品を用意したり、個々に合わせた対人での支援で補っている。また、物の置き場所や順を待つところに、目印になるものを掲示している。	はい30 どちらとも8 わからない1	・外階段や別部屋に移動する際には、やはり危険なことも多い。手すりの設置を早急に実施したい
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	通所前、降所後の清掃の徹底。また、日々の打ち合わせや職員会議にて不備などがあった点について職員間で共有し、改善をしている。利用児の作品や季節感を取り入れた壁面などを職員が毎月制作し、掲示して児童を迎えている。	はい39 わからない1	・環境を整える中での、施設の老朽化が目立ってきているところもある為、併せて施設の補修もしていく必要がある。また、環境が傷まないような工夫をしながら、整えていく必要もある
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員会議や日々の打ち合わせまた振り返り時に、議論・検討を重ねている。実施計画書も作成し、事前の検討も重ね、職員間で共有している		・現状の取り組みを継続する。また、全職員が参画できる時間をより確保をしていく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者委員会は設置しているが、外部評価については、受けていない。		・必要に応じて、取り入れていく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	事業所内での新人研修、職員会議内でのミニ研修(疾病や障がい、発達についてなど)を実施。日頃より、職員が子どもとの関わりで息詰まっている内容についても触れ、企画している。また、今年度に関しては、e-ラーニングを取り入れ、充実を図った。虐待研修、身体拘束の適正化、感染予防の研修を実施。また、年1回の法人全体研修や新人研修及び事例検討会なども行っている。 外部研修については、ZOOMなども活用しながら、参加できるものには、積極的に参加している。また、保護者向けのペアレントトレーニングにも共に参加することで、研修の機会にもなっている		・現状の取り組みを継続する。その中で、各職員に応じた研修の充実を、より図る。また、研修時間の確保にも努める

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	定期的に現在の子どもの実態を把握することを目的に担当者会議を開き、アセスメントを行っていると共に、保護者からの要望の聞き取りをおこなっている。 また、日常より保護者からの相談して頂いたことを療育内容にも取り入れ、計画を立てている。利用児本人も交えながら、面談をする機会も取り入れている	はい40 ・とても詳しく計画して頂き、助かります	・今後もより具体的に分析をし、保護者とも共有しながら作成にあたる
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	それぞれの利用児の目標に応じて、組み合わせた計画書の作成をしてきた	はい40	・現状の取り組みを継続する
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	目標および具体的な支援内容を記載して作成している	はい40	・現状の取り組みを継続する
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	サービス担当者会議・職員会議・日々の打ち合わせにて支援方針や方法を確認し、現場に臨んでいる	はい38 どちらとも1 わからない1 ・集団の中での支援なので難しいと思いますが、丁寧にやって頂いている ・椅子の工夫には、本当に驚きました	・現状の取り組みを継続する
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	制作などに関しては、職員が活動プログラムの立案を担当し、企画→検討→試行→検討→実施のサイクルを職員全体で行い、プログラムを決定している。また、当日の打ち合わせ時に、必ず確認、意見交換を実施している		・現状の取り組みを継続する。また、チーム全体で検討できる時間の確保にも努める
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	1日の生活の活動量などの生活状況を保護者と確認しながら、目標を設定している。また生活リズムも視野に入れながら各利用児の目標にしていることに合わせてプログラムを立案している		・現状の取り組みを継続する
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節の行事の取り入れ、それぞれの児童に今必要な内容を取り入れた活動、先を見据えた経験ができるような内容、家庭ではなかなか経験できないことなどを、週間ごとにメインの活動内容として企画し、行っている。また、家庭でも引き続き取り組めるような活動も視野に入れて展開している。また、週に何回か通所している児童には、活動内容の発展を渡している	はい37 どちらとも2 わからない1	・現状の取り組みを継続する。それと共に、保護者に向けて、活動のねらいや目標をより詳しく説明できる機会を作り、活動プログラムの充実につなげる
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	受け入れ前に、必ず打ち合わせを実施。その際、利用児についての情報共有や前回利用時の様子を振り返り、当日の支援について出勤職員に伝達、確認を行っている		・送迎業務に出る職員もいる為、全職員が揃っての打ち合わせが難しいこともある。業務の流れなど時間の工夫やその体制が整えやすいように、人材の確保をしていく必要がある
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後の記録記載時に可能な職員間で行っている。勤務時間上、難しい職員もいる為、次の日の打ち合わせ時に振り返りや申し送りを行うようにしている。不足分においては、職員会議にて行う		・現状の取り組みは継続していくが、まだまだ時間の不足もあり、しっかりと確保できるように取り組む

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別の記録に日々の様子を記載し、そこから検討していく課題を抽出している。また、職員間で情報交換をし、記録漏れ防止と、さまざまな視点からの記録になるよう留意している		・現状の取り組みを継続する
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングを実施。保護者に対しても、モニタリングを書面にして説明。見直しにつなげている		・現状の取り組みを継続する
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	基本的には、児童発達支援管理責任者が出席している。必要に応じて、担当職員も同席している		・現状の取り組みを継続する
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在は、利用している方がいない。		・なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在は、利用している方がいない。		・なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者や相談支援員に連絡調整や必要性を伝え、サービス担当者会議を開催。在園時の様子や入園、入学に向けての情報交換を行っている		・現状の取り組みを継続する。保護者、相談支援員を軸に、より連携していけるようにしていく
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現在、小学校6年生までの受け入れのみであり、障害福祉サービス事業所への移行がない。小学校卒業時には、新たな事業所への引継ぎなどを行っている。		・現状の取り組みを継続する
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修の情報がある際は、随時参加を検討している。また、事業所のみでは抱えられないケースについては、連携や助言をこちらから求め、より良い支援につながるようしている		・現状の取り組みを継続する
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	交流をする機会は、なかなか作れていないが、地域へ出向くということについては、散歩などを通して作っている	はい10 どちらとも6 いいえ9 わからない15	・感染症などの状況を踏まえながらではあるが、交流する企画や公共の場の利用を通じて機会も作っていく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	まだ、流行性の感染症もある為、なかなか実施に至っていない		・公共の場を利用する機会の取り入れや、地域の行事の情報収集をしながら、地域の方との交流も図っていききたい。また、こちらの行事についても参加して頂くような機会の企画も検討していく
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時において説明を徹底。また説明の為に紙面を用意。	はい39 どちらとも1	・現状の取り組みを継続する
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	懇談の機会を取り、説明を行っている。	はい40	・現状の取り組みを継続する
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	今年度は、6回の連続講座として、ペアレントトレーニングを実施。また、年度はじめには、療育説明会などを実施した。また、児童発達支援では、保護者通所になっており、実際に共に時間を過ごしながら支援の方法や子育てについての助言や実際に伝えている。放課後等デイでは、連絡帳や電話相談及び面談の機会を取るなどして共通理解や支援を行っている。	はい34 どちらとも4 わからない4 ・大変お世話になっている	・継続して、保護者へのアプローチや共有などができるように努める。また、機会を充実させていく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底		はい39 どちらとも1 ・連絡ノートの返事がないことが多いので、一方通行だと思う時がある	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施		はい40 ・時間を見つけては、声かけて頂いている	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		はい20 どちらとも13 いいえ1 わからない6 ・研修、講習会やペアレントトレーニングの際にお話しができてうれしいです	
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	保護者からの苦情等などがあった場合は、施設全体で周知また対応を検討し、改善していている	はい25 どちらとも2 わからない13 ・今までそういう場面はなかったが、あったとしても適切に対応してくれると感じている ・苦情を出したことがないので、わかりません	・現状の取り組みを継続する
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	紙面やホワイトボードなどを利用し、視覚的にわかりやすくしたり、また連絡手段もLINEを使用するなどしている	はい40	・現状の取り組みを継続する
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月の活動予定の発行や活動写真を年間でまとめ、保護者にお渡ししている	はい27 どちらとも9 いいえ1 わからない3	・現状の取り組みを継続しながら、通信などの発行物などの充実を図る

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	職員への個人情報保護についての認識を徹底。保護者に向けては、個人情報使用同意書及び写真掲載の同意書を取って取り扱いに注意している。掲示物などにも、配慮している。また名前を記載している物品についても扱いを注意している	はい37 どちらとも1 わからない2	・現状の取り組みを継続する
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	法人でのマニュアル策定に参画し、感染症対応マニュアルを策定。職員会議にて全職員に周知及び、事業所のみでの対応についても検討した。他のマニュアルについても同様に策定していく。	はい36 どちらとも2 わからない2 -一番初めにあったのかなと思うが、忘れてしまっている。多分されていると思う	・職員間だけでなく、保護者へより周知していく為の方法について、検討し実施していく
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	火事、地震などの非常事態、災害に対しての、さまざまな形態での避難訓練を行ってきた。	はい35 どちらとも1 わからない4	・現状の取り組みを継続する。今後も、さまざまな場合を想定した訓練を計画、実施していく
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	日々の支援の中での振り返りを行う。必要であれば、個々の職員に応じて振り返りをしている。事業所内においても研修実施。法人全体においては、人権擁護や虐待研修を行う。また、外部研修がある時には、参加してもらおうようにしている		・現状の取り組みを継続する
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	法人で身体拘束禁止に関する施設内取り決め事項を決定。また、やむを得ない場合は、保護者と懇談での了解を取り、支援計画に記載		・支援方法の検討もしながら、今後も取り組んでいく
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーの調査書を保護者に年度初めに記載してもらい、必要であれば診断書を添付してもらう。また、保護者を通じて、医師に確認してもらうことや施設での活動を事前に説明し、活動の許可を取っている		・現状の取り組みを継続する
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎回の職員会議で、議題に必ずヒヤリハットを実施。全職員で検討し、改善を図っている。年度初めには、昨年度に出たヒヤリハットを全職員で確認している。		・現状の取り組みを継続する。また、職員間で、より共通した意識を持てるよう、取り組む
	1 子どもは、通所を楽しみにしているか	子どもたちの生活の中で、知らないことにもたくさん挑戦している(物事の経験だけでなく、気持ちの折り合いなどの経験も)その中で、=楽しみということばかりではないだろうが、生活する力につながるように展開している	はい35 どちらとも5 ・同年代の女の子がいたら楽しいと思います ・嫌な時もあるかもしれないが、行けば楽しんでいきます ・入口で泣くこともあるが、いつもニコニコで通所しています	
	2 事業所の支援に満足しているか		はい40	